

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- 全世代をケアしあう
コミュニティづくり……………1P
- 26年度行政職員研修を
ふりかえって……………2P
- 知多市地域ささえあい学習会……………2P
- 知多市暮らし支え合い
サポーター養成講座……………2P
- ベティ基金プロジェクト……………3P
- 協働ルールブック
フォーラム分科会……………3P
- NPO担当若手職員リレー……………3P

全世代をケアしあうコミュニティづくり

代表理事 岡本一美

「0～100歳の地域包括ケア」をテーマとした知多地域円卓会議を、1月30日、日本福祉大学半田キャンパスで開催した。これは、昨年行なった東浦町、半田市の小学校区円卓会議の成果報告と介護保険制度改正に伴う地域支援事業の進捗状況等を5市5町が共有する機会として行なったものである。

同大学原田正樹教授が進行した円卓会議では、オブザーバー参加を含め5市5町の取り組みから、7つの課題がまとめられた。

	課題	内容
1	ネットワーク化	①医療と他職種連携 ②互助の近隣関係
2	エリア	日常生活圏域を学区、町内会など重層的に展開
3	住民参加	啓発と互助=支え合い活動推進
4	生活支援担い手	要支援1,2の生活支援担い手確保、育成、位置づけ
5	認知症	子どもへの認知症理解促進など、認知症になっても安心できるまちづくり促進
6	全世代対象	子ども・若者・障害者などケアの必要なすべての人を対象
7	各福祉計画の整合性	介護保険事業計画が地域包括ケア計画として捉えられる際、地域福祉計画との差異

円卓メンバーの武豊町NPO法人ゆめじろうの小藤副理事長は、「地域包括ケアは、住民からすれば、それって何？という段階。始めたばかりの『おとなりカフェ』では、最初準備は私たちがしていたが、やり始めてみるとみなさん楽しくなり、鍵を開けると戸締りをすれば

いいんだね、となっていって。小さい子どもが来れば話が盛り上がるし、『犬がほしい』という情報交換ボードを作っている



が、これが地域の中の支え

1月30日円卓会議には、5市5町の行政、社協、包括、NPO法人など約60名が参加
合いで、地域包括ケアの一つだよと伝えれば、みなさんが理解できると思う。介護保険事業所という立場では、『武豊町は地域包括ケアをどうするのか』と行政に聞くと、『今いろいろ考えていますから』という返事が返ってくるが、そうではなくて、一緒に考え共に創り合っていくことだと思うと、具体的な実践を挙げて、全世代をケアしあうコミュニティづくりのコツを説明した。

3月7日には、半田市社会福祉協議会主催の第36回福祉大会の中で、「ちた型地域包括ケアから協働のまちづくりシンポジウム」を開催する。当日は「0～100歳の地域包括ケア」を、しくみと活動の両面から解説した冊子を配布するので、是非ご参加下さい。

ちた型地域包括ケアから協働のまちづくりへ

3月7日(土) 14:30～16:15
アイプラザ半田 講堂

講演 千頭 聡 日本福祉大学 教授
パネリスト 溝口昭弘氏(亀崎思いやり応援隊)山崎紀恵子氏(NPO法人絆)山田宰氏(半田市地域福祉課長)

■26年度行政職員研修をふりかえって



半田市協働推進担当者職員研修では、初回に見学した団体と一緒に活動エリアもしくは特定分野の課題について話し合い、相互理解を深めた

「町民の方々の幸福、心の豊かさとは何か？それに向けて自分には何ができるのか、考えるきっかけとなる研修」これは昨年11月4日に開催した武豊町職員研修

のふりかえりの一節。

市民活動の最前線であるNPOの現場を見学し、地域の代弁者から暮らしの現状を把握できる機会として各市町より職員研修オプションツアーを企画、今年度は東海市、武豊町、東浦町、一宮市、半田市の3市2町より受託した。

地域の代弁者とは、今の暮らしに足りないものを地域住民や関心のある人たちができることを持ち寄り「お互いさま」で課題を解決している活動、地域に根差したNPO実践者である。その現状を理解することで協働の第一歩である相互理解に結びついた。特に武豊町、半田市はエリアを「わがまち」に限定して調整を行った。

武豊町では、武豊文化創造協会、SmileyDream、ゆめじろう、ゆめフルたけとよスポーツクラブの4法人を見学、また添乗やふりかえりにも同席していただくなど地域密着度を高めた。

研修満足度8割強の回答が得られた半田市では、1月8日にNPO現場見学バスツアー、15日には見学したリーダーとともに半日のワークショップを行った。

NPOの求める市職員像、NPOが抱える課題や今後の展開に絞り話し合った結果、協働推進のためにできるはじめの一歩として「協働の身近さを課内でも情報発信すること」「地元の自治区の行事にできるだけ参加し、参加されている人の顔と名前を覚えるところから始めたい」との具体的な動きにつながるふりかえりを得た。

NPOが相手を尊重し、質にこだわる姿勢や行政の立場を理解していること、またNPO立ち上げの経緯にはその市民力を信じた行政職員のボランタリーな働きがあったことを聞き、公共を担うあるべき姿を確認した。この次の展開として、市民交流センターを中心に、さらに一歩深く掘り下げた対話の場づくりが展開されることを期待したい。(市野)

■知多市地域ささえあい学習会

2月15日、地域文化センターで知多市NPOケアネット主催の学習会が行われた。120名を対象に、「介護保険制度改正で私たちの老後はどうなる？」をテーマに、日本福祉大学原田正樹教授による講演の後、地域活動の事例紹介が行われた。

少子高齢化人口減社会の背景から、2040年までを見据えた暮らしの安心を確保するための介護保険制度の改正であることを理解し、各市町村単位で地域包括ケアシステムの構築をめざし、その仕組みの中での住民の役割について学ぶ機会となった。27年度の介護保険制度改正で大きく変わる「新地域支援事業」では、各市町村の地域力が試される。まずは、地域課題に向き合う多様な機関で構成される協議体と、その中核を担う生活支援コーディネーターの選出がカギとなる。

知多市では、サポートちたが仕掛けて平成19年から年1回の行政とNPOの意見交換会を設置し、NPOと福祉課、社協、包括で情報共有を重ねてきた。平成25年から、知多包括ケアネット会議として、子育て支援のNPOやシルバー人材センター、市民活動推進課も加わり、年3回の協議の場を設け、今回はその中で、新地域支援事業の動きを共有するために提案された学習会である。

住民への啓発もさることながら、今回の一番の成果は、知多市包括ケアネット会議体の連携であり、新地域支援事業の中の協議体の基盤ができたことである。(五十嵐)

■知多市暮らし支えあいサポーター養成講座

NPO法人で行ってきた有償ボランティアによる生活支援サービス「たすけあい活動」やコミュニティ等で始まっている「おたすけ会」などの活動を推進するための人材育



実践者にサポーターの人材像を検討してもらおう場を持つことから始めた

成講座を開催中である。講座の内容については、すでに市内で居場所づくりやおたすけ会を実践している市民のワークショップで検討。知多市包括ケアネット会議メンバーで、講座時間や講師の選定を行なった内容は、2月16日を初日として、5日間の座学と1日の現場体験。知多市の高齢化の現状、たすけあい活

動について、介護保険改正、高齢者の健康、介護方法、認知症、危機管理、成年後見、生活支援のころえ、などの内容を31人が受講中である。毎回意見交換の時間を設け、受講者の声を拾いながら、有効な人材育成講座を完成させていく予定である。(岡本)

■ベティ基金プロジェクト

介護付き有料老人ホームベティさんの家など、東海市、東浦町、知多市等で介護施設を営んでいる株式会社R and Tカンパニーが、制度によらない障がい者福



精神障がい者の居場所づくりを自然農法により実践するNPO法人びすた〜り

祉活動を行うボランティア団体、NPO法人等に寄付を行い、東海市、知多市の障がい者の生活支援に役立て、要介護高齢者と障がい児者との交流を図る取り組みが始まった。

本法人は、2市内の該当団体のリスト作り、寄付金の配付の仕方について検討する場づくりを行った。このしくみの事務局を担い、寄付金の2割をその経費に充てる。12月4日に同社正副理事長・総務課長、本法人理事2名、事務局1名によって第1回の検討の場が設けられ、下記の4団体に寄付金が配られることになった。

1. 農業を通して精神障がい者のための居場所づくりを行う「NPO法人びすた〜り」
2. 軽度発達障がい児の居場所づくりを行う「イルカくらぶ」
3. 不登校・ひきこもり・障がい児者相談・居場所・就労支援を行う「一般社団法人サポートネットゆっか」
4. 障がい児教育研修を行う「子ども支援者のためのABC」

同社では、単なる資金支援にとどまらず、施設のまわりに団体の関係者を招くなど相互交流を求めており、この取り組みが地域包括ケアのまちづくりに寄与することを望んでいる。今後、年3回の寄付金配布を予定している。(岡本)

■協働ルールブックフォーラム 分科会

あいち協働ルールブック2004の発行10周年を記念し、「これからの協働を考えるフォーラム」が1月21日、ウィルあいちで行われた。

「三重県四日市市における行政、NPO、地縁組織による連携・協働」をテーマに全体会が行われ、その後の分科会のうち1つを本法人が企画運営した。

これからの協働促進人材、地域貢献人材の育成について大学やNPO、コミュニティ、行政との連携をどう進めるか、参加者と共に意見交換した。

日本福祉大学千頭聡教授からは、知の拠点整備事業を通じた学生等若い世代の地域貢献教育について、また名古屋工業大学三矢勝司特任助教からは、まちづくりにおける中間支援組織に求められる役割と支援技術についての事例報告がなされた。

知多地域の個別事例として、はんだまちづくりひろばや東海市立市民活動センターの報告もあり、改めて各市町における公設センターの機能強化が求められることを共有した。(新保)

NPO担当若手職員リレー

豊明市市民生活部市民協働課協働推進係

浦倫彰さん



大学卒業後、民間企業で1年務めたのち、豊明市に入庁。保険年金課(現在は保険医療課)を3年半、企画政策課を7年半経て、現在は市民協働課に配属され2年目になる。

3年前から、NPOに関わるようになり、市内で外国籍児童の学習ボランティアとして参加、今年度はあいちコミュニティ財団の課題深堀りファンドへボランティアのファンドレイザー「モグラ」として活躍している。

取材2日前に、豊明市区長連合会の現場見学バスツアーを本法人と協働実施。防災の意識が高く、区の住民台帳がしっかり整っている半田市岩滑区、多世代交流拠点となっている知多市の南粕谷ハウスを区長の方と見学し、共に新たな知見を得た。これからこのような研修を重ね、地域コミュニティとNPOとの連携について、共通理解を持つ市民を増やしていきたいと語った。

また、コミュニティ活動が活発になるためには、ワーク・ライフ・バランスの本来の概念のとおり、「仕事」と「家庭」だけではなく、「コミュニティ」も取り入れる事、つまり職場でもなく、家庭でもない、地域の人との関わりや活動に参加することが大切だという。

今後とも地域のために、自分のできることから、着実に取り組んでいきたい、と結んだ。(新保)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■にやおぶち婚活

知多半島内唯一の猫カフェ「にやおかふえ」で開催する婚活パーティ。立食しながらのフリータイム、猫ルームで猫と戯れる時間もあります。

〈日時〉3月22日(日) 17時～20時
〈会場〉にやおかふえ (半田市星崎町2-202-1)
〈参加費〉男性5,000円 女性3,000円
成人未婚の男女各15名ずつ(先着順)
〈申込問合せ〉(N)ばれっと(三井) ☎090-5617-1145
<http://05.xmbs.jp/konkatsu/>

■四国巡礼のための正しい歩き方講座

正しい歩き方を覚えて、本四国巡礼に出かけませんか？
〈日時〉5/9、23、6/13、27、7/11、25、8/8、22、9/12、26
13時半～14時45分
※四国巡礼は別日程となります。
〈会場〉武豊町総合体育館 視聴覚室他
〈参加費〉会員200円/1回 会員以外300円/1回
〈申込問合せ〉(N)ゆめフルたけとよスポーツクラブ
武豊町総合体育館内 ☎0569-84-1100

■起業の学校 11期生募集中！

コミュニティビジネス、身の丈の起業を徹底して学ぶ起業の学校です。第11期生を募集しています。想いをカタチにしたい！一歩を踏み出したい！という方のご応募をお待ちしています。

〈日時〉5月23日(土)～10月3日(土) 全10回
〈会場〉WA東桜会議室 (名古屋市中区東桜1-2-8)
〈申込問合せ〉(N)起業支援ネット ☎052-486-4101
〈メール〉aile@npo-kigyo.net

■スタッフ募集！

相談員、ケアマネジャーを募集しています。一緒に働きませんか？詳細は下記担当者まで。

〈問合せ〉(N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛(浅野)
☎0562-36-0085

□■ サポートちた 今後の事業予定 □■

ちた型地域包括ケアから協働のまちづくりへ

「ふだんのくらしのしあわせ」を実現するために、私たちにどんなことができるのか。「ふくし」について一緒に考えてみませんか？第36回半田市社会福祉大会プログラムの第2部として行います。

〈日時〉3月7日(土) 第1部 13時半～14時半
第2部 14時半～16時15分
〈会場〉アイプラザ半田 講堂 (半田市東洋町1-8)
〈参加費〉無料 〈担当〉新保、山森

知多地域ボランティア・市民活動センター情報交換会

地域包括ケアのまちづくりとセンターの役割について情報交換を行います。

〈日時〉3月19日(木) 15時～17時
〈会場〉とこなめ市民交流センター
(常滑市神明町3-35) ☎0569-43-0660
〈担当〉市野

介護職員初任者研修 通信課程

〈開校式〉4月18日(土)
〈課題提出〉5月1日(金)～5月10日(日)
〈スクーリング〉14日間 各回9時半～16時半
〈実習〉1日(6～8時間)
〈修了試験〉8月2日(日) 9時半～12時半
〈会場〉知多市市民活動センター 〈定員〉40名
〈受講料〉70,000円(テキスト代・実習費・税込)
〈担当〉竹内、後藤田

行動援護従事者研修

障がい者の行動を理解し、利用者のニーズに添った支援に必要な知識を身に付けることができます。

〈日時〉4月12日(日) 9時45分～17時
4月19日(日) 9時半～17時半
4月26日(日) 9時半～17時45分
〈会場〉一宮療育サポートプラザ チャイブ
〈定員〉40名 〈受講料〉20,000円(テキスト代込)
〈担当〉五十嵐、山森

平成27年度 NPO現場見学バスツアー

定例開催は年2回【7月23日(木)、2月23日(火)】のみです、お早目にご予約ください！



オプションバスツアーは随時受付中です。あなたの目的に合わせてプランニングいたします！(担当:新保)



特定非営利活動法人
CFSC 地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743